

- 一、産業合理化の本原に關する理解を一般徹底せしむべく、組合員の間に一徹徹底の精神を醸成する事
- 二、爭議その他の場合を通じて資本家の産業合理化政策と實際的に抗争する事
- 三、産業合理化を促進する金融資本関係の打倒すべく、労争の支拂政策として採取する行動を採らしむる事
- 四、以上の具體的手段に關しては、新執行部をして急速に立案並に実行に着手せしめらる事

## 失業反對闘争に關する件

### 主文

失業反對闘争を有かならしめらるべく特別の機關を設けらる事

### 理由

失業が労働階級の現在に於ける最大の脅威であり、而して之れは階級を超越し、階級を超越するものにして、今更論するまでもない。然し、階級の争いの手段の不可思議として残る。然しなば階級争いは、結局において、組織の困難である。失業反對闘争は行

はるべくして、今日までこれが大々的に行はれなかつたのは、主として、かかる重要なる闘争の爲めの機關組織が設けられなかつた故である。

### 実行方法

- 一、總聯合会、関西、関東、東海、四道、各地方に失業反對闘争委員会を設ける。
- 二、右所管委員を合したものを以て日本労働組合總連合失業反對闘争全國委員会とする。
- 三、各地總聯合会及び各加盟組合にも同様に失業反對闘争委員会を置く。
- 四、下級委員会上級委員との連絡は委員長を通じて行ふ。
- 五、各委員会は、各関係機関において、失業状態の調査、その他失業反對闘争に役立つ事項の調査を行ふ。
- 六、各委員会は、各関係機関において、他團體の同種組織と連絡を保持して、上級機関の統制の下に、失業反對闘争を行ふ。
- 七、運動の具體的方法に就ては、全国委員会に於て至急下級委員会より調査報告に依り、確守たる案を設けると共に、その実行に對して自ら指導の任に當る。